



会長挨拶

大学校友会会長の二期目にあたって



追手門学院大学 校友会
会長 林田 隆行
(2期生 文社)

2013年から4年間の任期を終え、このたび再任いただき、また3年、会長を務めさせていただく事になりました。先の4年は大学校友会の再生と発展をめざし、委員会活動を中心に組織の拡充と活性化を図ってきました。これからの3年は、校友会の目的である、母校追手門学院大学の発展に寄与することと、会員相互の親睦を深めることに最優先で取り組む所存です。

支部・同窓会支援委員会と体育文化振興支援委員会を合体させ、新たに支部支援委員会と同窓会支援委員会として再スタートいたします。人材発掘のための二号評議員制度を生かし、校友会活動に参加していただく人の輪を広げながら、2019年開校の新キャンパスの支援へつなげてゆきたいと考えています。

校友会の諸活動に対し、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

Photo Library

3月17日に卒業式が開催され、1,360名が卒業、4月1日の入学式では学部・大学院合わせて1,928名が新たに入学しました。

2016年度
卒業式

第48期 学部
第43期 大学院



2017年度 第52期 学部
第45期 大学院 入学式



2017年度
入学式

第52期 学部
第45期 大学院

新執行部就任のお知らせ

会長 林田 隆行 (2期生 文社)



副会長
吉田 浩幸
(6期生 文社)

再び副会長を任命され、身が引き締まる思いです。微力ながら、会員相互の親睦と追手門学院大学の発展に尽くたく存じます。昨年度は大学創立50周年を共に祝い、式典を成功裏に終えることができました。きたる2018年の学院創立130周年事業と2021年の校友会結成50周年記念事業も、皆さまと共に進めて行きたいと考えております。



副会長
野出 靖宏
(14期生 経経)

広報委員会を管掌する副会長を拝命いたしました。微力ながら、会員相互の交流と親睦、母校の発展に尽くたく存じます。校友の皆さまの交流の様子や活躍されている様子、そして在学や追大の様子などを会報、Facebook等を通じて発信し、これまで以上に双方向の情報交換をしていきたいと思います。皆様からの投稿をお待ちしております。



副会長
生川 紳一郎
(6期生 経営)

校友会も誕生50年の大学と共に、社会性が問われ競争の時代です。そのために皆様への協力を努力して参りましたが、物足りなさを認めません。さらに新キャンパス構想に則り、現役学生ともうまくコラボしながら継続事業や新企画に向け、短期・中期・長期構想のもと新しいリーダーの模索と構築をしていきたいと思います。



副会長
永井 秀明
(5期生 経営)

支部支援委員会を担当する副会長を拝命いたしました。前任者並びに関係各位のご努力により新支部の設立が相次ぎ、現在10支部となりました。一方、広域な支部は多くの課題を抱えているのも現状です。支部長、支部会員、支部支援委員各位のご意見をいただきながら、支部活動の更なる活性化を目的に支部組織の改革に取り組んで参ります。

[特別委員会]
周年事業
委員会



委員長
森 嘉一
(7期生 経経)

周年事業としては、2018年に学院創立130周年があります。2019年には大学第二の学舎が竣工、2021年には大学校友会創立50周年を迎えます。皆様のご協力を得まして、少しずつですがしっかりと進めて参りたいと思っております。

4年の任期を終え、役員改選を実施し、以下の役員が新たに選任されました。2期目の運営を迎える林田会長をはじめ、全役員が一人となって校友会の発展に尽くしていきます。今後3年間よろしくお願致します。



委員長
藻川 芳彦
(8期生 文社)

今期も林田会長2期目の運営に携わることとなりました。総務委員会は校友会活動を円滑に進めるために、諸規程の整備、各種会議開催や活動記録の保管等、諸活動を支える業務を行っています。各種行事は、皆様の協力があるからこそ実施できます。お力添えをよろしくお願いいたします。



委員長
矢島 秀和
(34期生 文ア)

「広報」はPR(Public Relations)とも表現され、換言すれば「校友会員の皆様との関係性を構築する」という意味になります。「広報委員会」では、会員の皆様への「情報発信」はもとより、会員の皆様との「双方向型コミュニケーション」の構築を目指し、広報委員20名とともに、新たな広報を企画展開してまいります。



委員長
岡 正樹
(6期生 経営)

「短期計画・中期計画・長期計画を立てる」「支部支援委員会・同窓会支援委員会と連携を図る」「評議員会のための企画・事業でなく、会員が参加しやすいものを計画する」「評議員会に報告し全体としての活動と認識を高める」「現役学生と連携を高める」ことを基本に、16名のメンバーで企画事業を進めて参ります。



委員長
玉井 史郎
(22期生 経営)

当委員会は、校友会活動の原点とも言うべき、校友の皆様との同窓会活動を支援する委員会です。学部・ゼミ同窓会、クラブOB・OG会、還暦同窓会、職域部会といった同窓会組織の活動支援を行っております。これからも、校友の皆様にとって、最も身近な存在として活動の和を広げて参りたいと思っております。



委員長
美濃岡 伸也
(7期生 経営)

学生当時、校友会・副委員長総務として大学と協調して活動しておりました。大学当局の強力な支部支援対策をおいし、大変な役目だとも感じておりますが、当時の校友会・体育会・文化会・無所属委員会のメンバーや新しい支部支援委員会の皆様のお力をお借りし、精一杯職務を全うしていきたいと思っております。

▶ 役員一覧表 [101名]

氏名	卒業期	氏名	卒業期	氏名	卒業期	氏名	卒業期
会長 林田 隆行	2期生 文社	理事 藤尾 政弘	8期生 経営	理事 田中 克茂	30期生 経営	評議員 青木 敬	8期生 文社
副会長 永井 秀明	5期生 経営	理事 武藤 昇	8期生 経経	理事 磯浦 由佳	38期生 営国	評議員 越智 英二	16期生 文心
副会長 生川 紳一郎	6期生 経営	理事 澤川 芳彦	8期生 文社	理事 井上 貞彦	1期生 経経	評議員 鎌谷 一志	8期生 経営
副会長 吉田 浩幸	6期生 文社	理事 官浪 伸次	9期生 経経	理事 小寺 敏夫	3期生 経経	評議員 木村 力進	8期生 文社
副会長 野出 靖宏	14期生 経経	理事 田中 裕美子	10期生 経営	理事 辻本 健仁	3期生 経経	評議員 久保 圭子	8期生 文英
常任理事 野田 肇	6期生 経営	理事 山口 陽子	12期生 経営	理事 上田 静生	4期生 経経	評議員 八木 彰彦	8期生 経経
常任理事 美濃岡 伸也	7期生 経営	理事 大坂 幸司	13期生 文東	理事 加納 常八	5期生 経営	評議員 喜多 博	10期生 経営
常任理事 森 嘉一	7期生 経経	理事 押川 新一	14期生 文英	理事 下櫻 春道	5期生 経経	評議員 小林 武則	11期生 経経
常任理事 玉井 史郎	22期生 経営	理事 島山 香二	14期生 経営	理事 藤本 英治	5期生 文社	評議員 北澤 三恵子	12期生 文東
常任理事 矢島 秀和	34期生 文ア	理事 嶋谷 優香	15期生 経営	理事 木村 眞琴	6期生 経経	評議員 山本 保弘	12期生 経営
常任理事 大橋 陽一	2期生 経経	理事 藤原 亮	15期生 経経	理事 野村 國男	6期生 経営	評議員 山本 友亮	12期生 文英
常任理事 前田 順一	3期生 経経	理事 渡辺 隆翁	17期生 経営	理事 山口 人士	6期生 経経	評議員 渡邊 一則	12期生 文社
常任理事 蟻柴 潤一	5期生 文社	理事 大塚 高司	20期生 経営	理事 石原 力	7期生 経営	評議員 高谷 昌平	14期生 文東
常任理事 岡 正樹	6期生 経営	理事 高本 優一	22期生 経経	理事 宮本 幸治	7期生 文英	評議員 廣保 幸二	14期生 経経
常任理事 川崎 昭一	8期生 文心	理事 藤田 真由	27期生 文社	理事 米谷 豊	7期生 文東	評議員 清水 一朗	15期生 経経

氏名	卒業期	氏名	卒業期	氏名	卒業期
評議員 東松 尚	15期生 文心	評議員 梅谷 隆弘	27期生 経営	評議員 中野 翔太	43期生 経七
評議員 内田 憲博	16期生 文心	評議員 東條 竜一郎	27期生 文社	評議員 橋本 由貴	44期生 心心
評議員 小東 要一	17期生 文東	評議員 清上 裕介	27期生 文社	評議員 北川 健介	45期生 国ア
評議員 坂井 宏嗣	18期生 経営	評議員 三原 ナミ	27期生 文社	評議員 田中 智明	45期生 営マ
評議員 西川 利治	18期生 文東	評議員 鈴木 圭史	29期生 経営	監事 辻村 龍彦	1期生 経経
評議員 越智 文章	19期生 経経	評議員 秋吉 崇仁	32期生 経経	監事 能口 元良	4期生 経経
評議員 立石 正彦	19期生 経経	評議員 近藤 寛樹	32期生 文ア	監事 古橋 忠男	7期生 経営
評議員 中島 正悟	19期生 経営	評議員 辻村 健悟	36期生 営国	顧問 関 謙二	1期生 経経
評議員 辰巳 佳子	20期生 経経	評議員 荻野 裕樹	38期生 経経	顧問 鶴 毅	1期生 経経
評議員 辻本 俊郎	21期生 文東	評議員 中西 宏	38期生 人心	顧問 平野 昌雄	1期生 経経
評議員 林元 光広	21期生 文心	評議員 蓮元 政元	39期生 文ア	栄誉理事 宮本 正仁	1期生 文英
評議員 小林 嘉彦	22期生 文社	評議員 山元 隆広	41期生 経営		
評議員 土谷 尚子	22期生 経営	評議員 太田 裕一	42期生 営営		
評議員 片山 貴子	25期生 文東	評議員 中西 悠	43期生 心心		
評議員 田村 誠治	26期生 経営	評議員 船本 洋	43期生 経経		

支部長一覧

東京	島田 朗仁	17期生 経経
東海	高井 郁子	9期生 文心
滋賀	近藤 眞弘	9期生 経営
京都	矢島 秀和	34期生 文ア
和歌山	山下 直也	11期生 経経
兵庫	官浪 伸次	9期生 経経
中国	筒井 弘祐	6期生 経経
四国	中川 純	21期生 文社
九州	岩崎 陽一	6期生 文東
沖縄	神崎 義光	11期生 経経

阿波踊りを見に行こう

活気溢れる夏祭り 感動のひとときを徳島で

初日は新大阪駅より貸切バスで、宿泊先となる鳴門グランドホテルへ移動。同日の夜に、徳島市内の棧敷席にて阿波踊りを見物します。翌日は鳴門海峡のうず潮を橋上より見学するほか、淡路島に移動して島内を観光します。解散は15時頃大阪駅付近となります。

【日時】2017年 8月12日(土)・13日(日) 【締切日】2017年 7月12日(水) 【定員】25名
 【会費】43,000円 ※男女別相部屋(和室)、食事(朝1回/昼2回/夕1回)、夕食時宴会費・阿波踊りの棧敷席料含む
 【集合日時・場所】2017年8月12日(土) 11:00/JR新大阪駅「動輪」前(1階正面口)



同窓会を楽しもう!

詳しくは校友会ホームページへ
<http://otemon.org/>

皆さまの参加をお待ちしております。

全国10支部で開催されている同窓会は、地元の会員だけではなく、支部を超えての参加はもちろん在学生の参加も可能です。様々な同窓会に出席して、校友会の絆を全国に広げていきましょう。

都道府県別 校友会員数と支部 (2017年4月現在)



前学長 坂井 東洋男 退任のご挨拶

さよならだけが人生だ

前学長 坂井 東洋男

3月末の任期満了をもって学長を退任させていただきました。校友会の皆様、とりわけ林田会長をはじめ役員の皆様には、4年8か月の在任中、ひとかたならぬ誼を賜りました。

学内誌『リベルタス』にも退任のご挨拶「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」を書いたので、ここでは繰り返しません。

人生に別れはつきもの。というわけで、私は井伏鱒二の『厄除け詩集』所収の「酒を勧める」の妙訳、さよならだけが人生だ、をこよなく愛読しています。惜別の情を深くこめたもので、その詩の後半部分の直筆の書額も古書



店で大枚を(?)はたいて買いました。骨董趣味の数少ないものの一つです。その原詩の後半は「花発(ひら)くとき 風雨多し 人生 別離足る(多い)」。直訳すると、花が咲くと 雨が降ったり風が吹いたりするもの 人生に 別離はつきもの。

これを、井伏鱒二は「はなにあらしのたとへもあるぞ さよならだけが人生だ」と思い切りひねって訳しているんです。別れのこの酒宴では、心ゆくまで飲みましょよ。別れの場での酒宴で思い起こすのは、テレサ・テンも歌った「何日君再来」(つぎはいつお目にかかれるの)の中国語バージョンです。

せめて今は、心ゆくまで飲みましょよ、召しあがりましょよ。彼女は日本語でも歌っていますが、歌詞の趣旨はだいぶ違います。何かの折には皆様にもまたお目にかかります。かさねてご厚誼に御礼申し上げます。

校友会 新会員からのメッセージ

校友と追大生とのかかわり ~ “今” を伝える架け橋に ~



神戸 春佳 (48期生 営マ)

入学してしばらくは、「校友会って何?」というのが率直な感想でした。私もこの春から新社会人となり、5万人近くからなる昭和、平成の追大卒業生、つまり校友の一人となりましたが、どのような活動をしているのか、学生意識委員会(C.S.C.)での活動がなければ、そのかわりは薄かったと思います。

しかし、卒業生としての誇りを持って、母校(追手門学院大学)の発展のために、自己のできる範囲で貢献すること。それが、学生と校友の方々との意見交換の場だけでなく、地域の清掃活動や将軍山祭、クラブ活動への支援などだった

んだと、今になって実感するばかりです。校友会の一員となった今、機会があれば、学生時代に校友と追大生との“架け橋”になれるように汗を流した経験を、広く伝えたいとも思っています。

この会報を通じて、校友会について知らない追大生に、「校友会」を身近な存在に感じてもらえればと願っています。

校友にとっても、最近の学生気質や、離れて久しい追大のキャンパスが進化する姿を知るきっかけになればとも考えています。そして全国に広がる追大と校友の交流の輪が、社会に広がり浸透していくことを期待しています。

将軍山奨学金授賞式

「将軍山奨学金」1期生の授賞式が行われました

校友会と在校生の交流の架け橋および、将来の校友会支部活性化を担う人材の育成を目的として、2016年度に校友会は「将軍山奨学金制度」を設立。栄えある第1期生の授賞式は、2017年3月26日校友会評議員会(追手門学院大手前中・高等学校視聴覚室)において行われました。奨学金を受給した学生たちから、以下の感謝の言葉が寄せられました。



奨学金授賞式の様子

奨学生からの感謝の言葉

私は将来に向けて、資格取得の勉強に励んでいます。昨年は学内の資格取得講座を利用し、世界遺産検定2級に合格することができました。この資格で得た知識を、2018年の世界遺産候補地である地元の長崎県での地域活性化に結び付けたいと思います。また4年間を通して学芸員資格の取得、さらにTOEIC®などの検定試験も視野を入れており、この奨学金を学費だけでなく、資格取得の費用としても使わせていただきたいと思います。

松尾 有起 (地域創造学部 地域創造学科2年)

学会への参加やワークショップの受講、交通費などの費用をアルバイトで賄ってきました。奨学生に採用されるまで学業の時間もアルバイトにあてていましたので、奨学金の有効活用により、研究活動や学習により時間を費やすことができます。今後は学会へ積極的に参加したり、ワークショップを受講したりすることでさらに能力向上に励み、奨学生第1期として修士課程修了後、2期生以降に誇れるような人間になれるよう努力を続けます。

橋本 勇真 (大学院心理学研究科 臨床心理学コース)

院生になって学会など様々な場所へ向うことが多くなり、学内だけではわからなかった貴重な体験ができています。そこで、もっと活動の幅を広げ、学ぶ機会を増やしたいという思いから応募させていただきました。奨学生に選んでいただいたことで自身の研究活動を充実させると同時に、追大の先輩方とのかかわりも一層増やしたいと考えています。校友会での出会いから多くのことを学び、自分自身の成長の力に変えて行きたいと思っています。

古谷 有佳理 (大学院心理学研究科 臨床心理学コース)

EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

CLOSE-UP

クラブ活動・課外活動を応援しよう!

Vol.2

▶ チアリーダー部

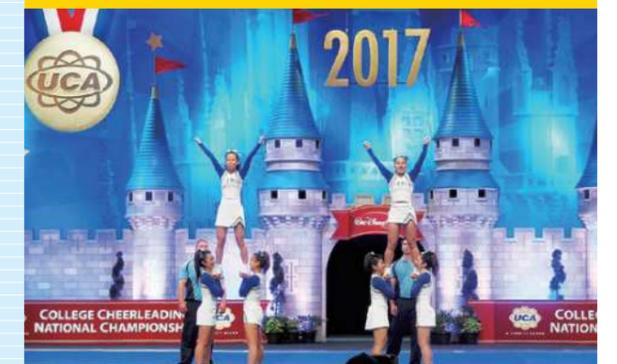
エリートガール部門世界1位に。校友会のご支援のお陰で競技に集中できた成果です。

経済学部 経済学科4年
梅原 有希さん

追手門学院大学校友会応援団チアリーダー部 Soldiers

チアリーダー部は、硬式野球部、アメリカンフットボール部の応援に加え、校友会のイベントや各種の学内行事、さらには地域のイベントなどを活動の場にしています。もう一つの軸は大会への参加です。2017年1月にアメリカで開催された「世界大学チアリーディング選手権(WUCC)」では、念願のエリートガール部門優勝という成績を収めることができました。

校友会の皆様には日頃からお力添えをいただいておりますが、本出場に際して多額のご支援をいただき、渡航費、宿泊費を心配することなく競技に集中できたことが世界1位という成果に結びついたと感謝しております。チアリーダー部は私の代から、ダンス部門とチアリーディング部門の2部門で活動しています。世界大会での優勝や規模の拡大といった現在の部の発展は、先輩方が築いてくださった伝統のうえに成り立っていることを常に感じています。今年度中にはリーダー部と吹奏楽団との3部の連携を本格化できるよう、現在話し合いを進めています。今後とも私たち校友会応援団チアリーダー部をよろしく願い申し上げます。





追手門学院大学 校友会会報

第85号

平成29年(2017年)9月1日

追手門学院大学 校友会

会長 林田 隆行



2016年ホームカミング・デー 校友

NEW CAMPUS [2019年4月開設予定]

追手門学院大学に新キャンパス誕生!!

大学校友大会 | 今年も安威の丘に卒業生が大集合!

ホームカミング・デー開催

OTEMON GAKUIN UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION
HOMECOMING DAY



対談 | 第1回実行委員長 × 第51回実行委員長&副委員長

将軍山祭。はじまりと、これから。



“現”代未聞。
シルバーに輝く
三角形の
新たな学舎。



※本頁に記載の写真はイメージです。

追手門学院大学に 新キャンパス誕生。

2019年4月
開設予定

OTEMON GAKUIN UNIVERSITY

NEW CAMPUS

新キャンパスの開設によって、2キャンパス体制となる追手門学院大学。コンセプトは「2キャンパス1サイト」です。2つのキャンパスが緊密な連携を創出しながら、地域と社会に開かれた新次元の教育空間を形成する——その営みを通して、新しい教育の姿を社会に広げていきます。



新キャンパス開設へ向けて

追手門学院大学校友会 会長
林田 隆行
(2期生 文社)

Takayuki Hayashida

2019年4月、茨木市に設置されるJR新駅(JR総持寺駅)の近くに大学のキャンパスが開設されることとなりました。

追手門学院大学は1966年の開学以来、50年が経過し、昨年、創立50周年を迎えたことは皆さまのご記憶に新しいことと思います。我々の母校は、川原理事長・学長のもと、積極的な大学改革が推進され、5年連続志願者増をはじめ、大学ランキングにも様々な部門で顔を出す、まさに発展を遂げている大学に成長しています。次の50年、大学創立100周年を見据えてさらなる発展を期し、新キャンパス計画が発表されました。

大学校友会もこの新キャンパス計画を全面的に支援させてい

ただき、校友会の設立の原点である母校の発展に寄与する卒業生団体であることをこの機会に示したいと考えています。

また、2018年度入学生から、卒業と同時に大学校友会の正会員となることを前提に、校友会費の分割納付が始まります。このことで、校友会に学生会員(準会員)が誕生することになりました。今後はより一層、在校生支援にも力を注いで参ります。

校友会員の皆さまには、母校の新キャンパス計画をご支援いただきますとともに、校友会諸活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



教学改革に挑む

学校法人追手門学院 理事長 / 追手門学院大学 学長
川原俊明
(追手門学院小学校71期・追手門学院大手前中・高等学校14期)

Toshiaki Kawahara

林田会長をはじめ大学校友会の皆さまには、日頃から、活発な校友会活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。卒業生の活躍は、大学の評価につながります。

追手門学院大学は、昨年、創立50周年を迎えました。これを機に、大学は教学改革をさらに推し進め、他大学に先駆けた教育体制を確立させます。主体的な学び。学び合う・教え合う教育。未来予測が不確実な社会においてもなお、自ら未来を切り開く人材を育てます。

新しい教育展開の実践が新キャンパスです。同じ茨木にJR新駅が近く開設。新駅から徒歩10分圏内に約2万坪の新キャンパス地を確保。大学は2キャンパス体制。すべての新入生の初年次教育の実施とともに、地域創造学部、国際教養学部を

移転します。中高は全面移転。2019年4月開校をめざします。大学改革の目的は教学改革です。近時の教学改革の取り組みに、学外から高い評価をいただくようになりました。

最近発刊の朝日新聞出版「アエラムック / 大学ランキング」。志願者数5年連続の増大、就職率の大幅な上昇などが全国平均値を大幅に超えるなど、様々な分野で本学が名前を出しています。私が特に嬉しいのは、教育面に注目を集める大学として、多くの他大学学長から高い評価をいただいたことです。全国767大学のうち追手門学院大学は全国13位に輝きました。同列は、京都大学・早稲田大学など。14位は東京大学です。

本学は、さらに教学改革を推し進めます。大学校友会の応援、よろしく願います。

NEW 兵庫支部

7つの地区ごとの集いと、年1回の総会開催を通じて兵庫県下8000名の卒業生を繋いでいく。

2017年3月に誕生した兵庫支部。県下には約8000名の卒業生がおられ、多岐にわたる分野で活躍されています。そうした卒業生同士を繋ぐビジネスマッチングを行うことで兵庫支部

のネットワークを構築し、親睦を深めたいと考えております。兵庫県は広域にわたるため神戸市・阪神南・阪神北・丹波・播磨・但馬・淡路の7地区にわけて各々世話人を設け、地区ごとに集いを実施して活性化を図ります。そして年に1回地区を統括し、毎年異なるエリアで総会を開催。皆が支える「支部の集い」を開きます。今年度は神戸市にある灘の酒蔵巡りを楽んだ後、三宮で忘年会を催す予定です。皆さまの積極的な参加をお願い申し上げます。



「阪神地区の集い」のご案内

兵庫県阪神地区の校友集まれ。アメ民OBの演奏もあります!

【日時】 2017年9月30日(土) 14:00~(予定)

【場所】 カフェ「アスコケンダ」 西宮市鷺林寺町6-12 TEL 0798-71-2808

「兵庫支部総会」のご案内

田中正人准教授による講演会「震災復興と地域コミュニティ」も同時開催します。

【日時】 2018年2月17日(土) 13:00~16:00

【場所】 都ホテルニューアルカイク

支部だより 特集 *Special Feature* **各支部“今後の目標”**

福井支部・石川支部・富山支部の設立にご協力ください!!

現在、校友会支部支援委員会では福井(245名)・石川(156名)・富山(105名)の支部設立をめざして活動しています。当該地域で活躍されている卒業生の皆さまのご協力をぜひお願いいたします。ご協力いただける方はお手数ですが下記までご連絡ください。※カッコ内は卒業生数

追手門学院大学 / 校友会 [事務局] TEL : 06-6943-8400 FAX : 06-6943-8401 E-mail: info@ogu-koyukai.com

各支部の総会・集いの詳細につきましては、校友会HPをご覧ください。 <http://otemon.org/>

各同窓会のお申し込みは
コチラから



NEW 奈良支部

合言葉は「気軽に」。一人でも多くの方が参加できる事業運営と雰囲気づくりを重視していく。



の方に発起人を依頼。数回の発起人会を経て、設立総会を迎えることができました。懇親会では、大学の現状報告や校友会員の宣伝などで壇上には常に人がいる盛会ぶりで、参加者が自由に席を移動して交流を深めていただく順調な滑り出しとなりました。今後も奈良支部では

2017年6月24日、11番目の支部として校友会奈良支部を設立しました。発起人が見つからず、設立までには紆余曲折がありました。2016年10月に開催した「奈良県人会」で数名

「広げよう新しい交流と連携」という校友会の基本理念を踏まえ、「気軽に」を合言葉に、一人でも多くの方が参加し、交流していただける事業運営と雰囲気づくりを重視していきます。



東京支部 支部総会の内容充実とプラス要因となる企画を模索中。

東京支部では、全国屈指の強豪に成長した女子ラグビー部の応援を2015年から継続。またスポーツ支援で知られるミキハウス勤務の木村力造会員よりスポーツ界で活躍する著名人の話を伺うことができます。今後は支部総会の内容充実と早期告知に加え、プラス要因となる企画を模索中。組織再編と活性化にも努めます。

「東京支部総会」のご案内

【日時】 2017年11月11日(土) 11:00~(予定)

【場所】 タント・タント 渋谷 東京都渋谷区道玄坂2-24-1 東急百貨店本店8F
【会費】 4,000円 【応募締切】 10月27日(金)



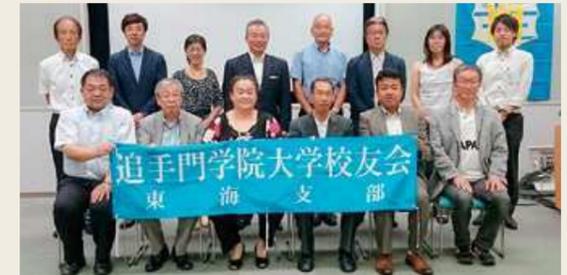
滋賀支部 支部独自の広報活動を通じて参加者の増加を促していく。

「滋賀支部会報」というチラシを作成し、「集い」「懇親会」などの支部の活動記録や大学の最新情報を告知する活動を続けています。今後も会報の発行を通じて滋賀支部の動向を周知し、活動内容をご理解いただくと同時に、より気軽に参加していただける事業を考案することで、参加者を増やしていくよう尽力して参ります。

「滋賀支部総会」のご案内

【日時】 2017年10月22日(日)
受付=15:30~/総会・講演会=16:00~/懇親会=17:30~
【場所】 ホテルポストプラザ草津びわ湖 (JR草津駅直結)
【会費】 5,000円 ※詳細は校友会HPをご確認ください

※写真は前年の支部総会



東海支部 普通の校友が気軽に集まれる「集い」を催していきたい。

東海支部では、ごく普通の校友が気軽に参加できるような支部運営を心掛けていきます。支部総会といえば堅いイメージがあるかもしれませんが、楽しい茶話会のような「集い」を催していきたいと考えています。現在は東海4県での運営ですが、人数の多い三重県については今後独立することも視野に入れていきます。

東海支部総会の報告

9月2日(土)名古屋能楽堂内の「日本料理 大森」にて開催しました。課外活動支援センター長・上田教授による講演会「フットボールから学ぶ組織のガバナンスとマネジメント」に続いて支部総会、懇親会を実施。久々に校友同士が旧交を深めた有意義な一日でした。



京都支部 兵庫支部との共催ツアーを企画。初の北部地域での開催も検討中。

京都支部では毎年、支部会員の方を講師に迎え、自身の半生や仕事を語っていただく会を開催しています。新しい試みとして、兵庫支部との共催で京都の「伏見」と兵庫の「灘」の酒蔵を巡る「利き酒ツアー」を企画。また、支部創立以来、主に京都市内での開催が続きましたので、今後は京都府北部地域での実施も検討しています。

京都支部総会の報告

8月5日(土)京染会館にて開催。地域創造学部・大泉教授の講演「都市政策からみた京都ブランドと民泊の可能性」の後、総会では新支部長に岡正樹氏(6期)が選出され、議案もすべて承認されました。懇親会では卒業生のお店を貸し切り、楽しい杯を交わしました。



和歌山支部 発信と受信の双方向体制で運営。ブロックごとの連携も強化する。

「集い」などの活動・近況報告を支部から会員に発信すると同時に、希望を聞く双方向の運営をしています。さらに若年層へのアピールとネットワーク作り、地域の細分化とブロックごとの連携強化にも取り組みます。また名物卒業生には、白浜「ホテルむさし」の沼田社長がおられます。

和歌山支部総会の報告

7月23日(日)、世界遺産「熊野古道」の玄関口で、大学と地域連携協定関係にある田辺市において開催しました。28名が参加するなか、峯俊智穂准教授の講演・胸永専務理事のお話・支部総会・昼食会を実施。古道散策では汗を拭きながら急坂にチャレンジしました。



九州支部 九州全域から各県・地域単位に改め、地域支部による活動を開始。

既存の九州全域にわたる広範囲の運営を改善し、各県・地域単位による地域支部を編成し、活動を促します。今後は各県・地域ごとにミニ校友会的な活動を行い、年1回の九州支部総会は、開催地となる地域支部に各支部長が参集するスタイルに改めます。また現在は高齢会員が主体のため、若年会員の取り込みにも力を注ぎます。

九州支部開設25周年記念コンサートを開催

林田会長・胸永専務理事・増田入試部長らのご臨席を賜り、開設25周年の記念すべき会を盛大に開催することができました。記念コンサートに続く懇親会では、卒業年度を越えた繋がりができ、今後九州各地で進められるミニ校友会への足がかりとなりました。



沖縄支部 年賀状にて総会参加を呼びかけ。若手会員を温かく迎える会の運営を。

少人数の沖縄支部では毎年、年賀状にて支部総会への出席をお願いしています。2017年5月に開催した総会には、2名の現役学生が参加してくださいました。卒業後沖縄県に就職した会員に対して、卒業生会として温かく迎えられる支部にしたいと思っております。今後も年に1回は、お互いの近況を話し合う場を提供していきます。

沖縄支部総会の報告

福島副学長・林田会長・永井副会長・岩崎九州支部長らにご列席賜り、5月20日(土)に「食彩健美 野の葡萄」にて開催。福島副学長の講演会「沖縄と大阪を結ぶ可能性を語る」のほか、名桜大学と追大間における包括協定に関する報告などがありました。

ゴルフコンペ開催

校友会ゴルフコンペが開催されました!

6月17日(土)、能勢カントリー倶楽部にて、第2回校友会ゴルフコンペが開催されました。当日は、お天気に恵まれ絶好のゴルフ日和のなか、小中高の同窓会である山桜会の皆さまにもご参加いただき、楽しい一日を過ごすことができました。次回は来年6月開催の予定です。今回参加いただけなかった皆さまも次回はぜひご参加ください。

林田 隆行(2期生 文社)



中国支部 費用を抑えて気軽な参加を促進。四国支部との連携企画も検討中。

若年層の参加を促すためにも、気軽に足を運んでいただけるよう参加費用を抑えていきたいと考えています。より集まりやすい体制構築のため、広範囲にわたる中国支部の中で、県単位の組織を作ること目標に掲げています。また新しい試みとして、中国地方の特色を生かしたイベント開催や四国支部とも連携した企画を検討中です。

四国支部 県単位での集まりを開催。今年は徳島県での集会を予定。

より参加しやすい支部活動にするため、各県単位での集まりを催していきます。今年は徳島県での集会を予定しています。毎回の総会で10名以上の会員を集めることを目標に運営していきたいと思っております。どなたでも参加していただきたいのですが、とりわけ卒業後間もない若い会員の参加を促進していきたいと考えております。

中国支部・四国支部総会

現役生も多数参加し、活気ある会となった2支部合同総会。

中国支部・四国支部との合同で、平成29年度支部総会を7月15日(土)に「心地ダイニング 奈々伊」(岡山市)にて開催。高尾常務理事・田上准教授・林田校友会会長・吉田副会長らのご列席のもと、両支部会員11名に加え中国・四国地方出身の現役生6名をはじめ総勢27名が出席されました。2支部合同のためより多くの方々との交流ができ、現役生も参加してくれたことで、今後への繋がりが感じられる活気のある会となりました。



**来たれ! 少林寺拳法部OB・OG
少林寺拳法部創部50周年
記念祝賀会のご案内**

追大少林寺拳法部は昭和42年に同好会として発足し、昭和52年に部に昇格。今では関西学生大会をはじめ、全日本学生大会で内閣総理大臣賞、そして世界大会においても最優秀賞を獲得するなど数々の輝かしい成績を納めるまでに至りました。この歴史を語り、10月15日に50周年記念祝賀会を開催します。当日は皆さまに楽しんでいただけるよう、世界トップクラスの少林寺拳法の演武が実演されるほか、世界空手道選手権大会の覇者―清水希容選手、そして少林寺拳法グループ総裁の宗由貴氏をお招きします。また次の周年記念につながるよう、木村力造実行委員長(9期)・阪本光博OB白蓮会会長(17期)のもと、準備を進めております。少林寺拳法部のOB・OGの皆さまは、ぜひご参加ください。



[日時] 2017年10月15日(日)
12:00受付開始 13:00~16:00
[場所] ホテルニューオータニ大阪【鳳凰の間】
TEL 06-6941-1111
[会費] 13,000円

お問い合わせ・お申し込み

**OB白蓮会
事務局**

〒663-8136 西宮市笠屋町13-18-102
有限会社サカモト光
TEL 0798-44-1020 FAX 0798-44-1080
E-mail : sakamoto-hikari@krc.biglobe.ne.jp



**クラブの同窓会・祝賀会の情報を
校友会会報に掲載しませんか?**

クラブの同窓会や祝賀会の幹事をされている方は、ぜひ早めにご計画いただき、詳細な情報を下記までご連絡ください。
追手門学院大学 / 校友会【事務局】 TEL : 06-6943-8400
FAX : 06-6943-8401 E-mail : info@ogu-koyukai.com

ホームカミングデー

日時 **2017年 11月5日 [日]**

- 校友大会 (11:15~12:15)
- 懇親会 (12:30~14:00)
- 学部同窓会 (14:15~15:15)
- クラブ同窓会 (15:30~16:30)

あの日の
仲間に会いに
行こう!!

卒業生は
どなたでも
参加OK!!

入退場
自由!!

駐車場に限りがありますので、できるだけ**直通バス**をご利用ください。懇親会にご参加の方は**名刺**をご持参ください。

安威の丘で皆さまのお帰りをお待ちしています



お申し込み 方法

会報同封のハガキ、または校友会ホームページにて**10月20日(金)**までにご出欠をお知らせください。
● 追手門学院大学校友会ホームページ | <http://otemon.org/> | 追手門学院大学校友会 検索

追手門学院大学 学部長・機構長から 校友への メッセージ

社会学部



上石 圭一 学部長
社会学部は成長しています。新しい教育プログラムをはじめ、私たちの現在をぜひご覧ください。お待ちしております。

経済学部



櫻庭 千尋 学部長
50周年から100周年へ。経済学部のたすきを繋ぐ在学生は、先輩方の活躍に興味津々です。歴史が息づいている母校の発展を直にご覧ください。

心理学部



浦 光博 学部長
心理学部の発展は止まりません。今年4月には大学院博士後期課程が設置されました。飛躍を続ける心理学部をぜひ見に来てください。

経営学部



原田 章 学部長
卒業生の皆さま、今年も多くの教員と元気な学生でお迎えしたいと思っております。

国際教養学部



松宮 新吾 学部長
国際日本学科と国際教養学科による新生国際教養学部がスタートしました。Come back anytime!

地域創造学部



山本 博史 学部長
安威の地にお帰りください! 開設3年目のため卒業生はまだいませんが、卒業生の皆さま方のお力添えをいただきたいと思っています。

基盤教育機構



池田 輝政 機構長
学習者中心を実現する追込改革のいまを肌身で感じてください。

在学生からのメッセージ

Message From Students

社会福祉部
私たちは模擬店でポテトとジュースを販売しています。卒業生の皆さん、ぜひお立ち寄りください!!

華道フラワーアートクラブ
私たちは模擬店で水ギョウザを販売しています。展示も行っているので、ぜひ見に来てください!!

文化会本部
私たちは模擬店でやきとりを販売しています。08・06の皆さん、ぜひお越しください!!

レクリエーション研究会
私たちは模擬店でフランクフルトとホットドッグを販売しています。ぜひ食べに来てください!!

ハンドボール部
私たちはハンドボール部は子伊を販売します。ぜひ遊びに来てください!!

バレエボール部
バレエボール部では、おいしい焼きそばを作っています。ぜひお立ち寄りください!!

一般芸術局
あの頃を思い出してポップコーンを食べに来てください!! みんなハジけています! ポン★ポン

書道部紫水会
私たちは模擬店で焼きおにぎり販売しており、作品の展示もしています。ぜひお会いしましょう!!

児童研究会
私たちは模擬店でゲームをしています! 景品もあります! 展示・人形劇もやっています!!

陸上競技部
私たちは模擬店でわたがしを販売しています。卒業生の皆さん、ぜひお越しください!!

写真部
写真部は「O・HI・NA」をテーマとした展示と模擬店をします。ぜひお越しください!!

軽音楽部
私たちは模擬店でキムチうどんを販売しています。ぜひ食べに来てください!!

マスコミ研究会
私たちは模擬店でポテトや飲み物を買っています!! 昼はまだまだ着いのでどうぞ!!

美術部
模擬店では揚げマシュマロを販売し、展示は自由がテーマです。ぜひ見に来てください!!

応援団
応援団の模擬店はチョコバナナです。アタリ付きなので、ぜひ食べに来てください!!

ギター部
ギター部はギター喫茶を開いています。ギターの音色を聞きに、ぜひお越しください!!

生物研究同好会
生部では今年もスーパーボールすくい、動物ふれあい会を行います。

アメリカ民謡研究会
私たちはアメリカ民謡研究会は模擬店でフランクフルトを販売します! ぜひお会いしましょう!!

社会学部支援同窓会ソキウス総会

社会学部卒業生の皆さま、お元気にお過ごしでしょうか。今年も社会学部支援同窓会ソキウスの第12回総会ならびに懇親会を、下記の要領にて開催いたします。ぜひご参加ください。

- [日 時] 11月5日(日) 14:15頃より
- [場 所] 大学4号館4階4402教室(昨年から部屋が変わりました)
- [会 費] 2,000円
- ※但し、卒業後5年間(44期生~48期生)は会費免除です
- [連絡先] 校友会事務局
TEL: 06-6943-8400 E-mail: info@ogu-koyukai.com
- ※準備の都合上、事前にご連絡いただければ幸いです。

遠山ゼミ全員集合!!

7月30日に梅田ターミナルビル17F「里山ダイニング」にて開催した前回の「遠友会」。17名のゼミ卒業生が遠山嘉博先生を囲み、執筆中の原稿についてのお話などをお聞きしつつ旧交を温めました。

今回はホームカミングデー当日に、遠山嘉博先生の講演と全ゼミ生の会「遠友会」を下記の要領にて開催します。ふるってご参加ください!

- [日 時] 11月5日(日) 15:30頃より
- [場 所] 大学2号館3階2311教室
- [講師] 遠山嘉博先生(学院特別顧問・名誉教授)
- [企画] 「これからの日本経済の動向」

当初から50年先、100年先へのつながりを意識していた。

辻村◎まず第1回将軍山祭が開催に至った経緯からお話しますと、実はその前年、開学の年に有志数名で大学祭を実施したのです。文化の日に1日だけという小規模なもので、不十分な思いが残りました。そこで来年こそは本格的な大学祭を開催しようと一念発起し、全学に呼びかけて実行委員も公募しました。将軍山祭の名称も公募です。追手門学院大学祭や安威祭など、数多くの案が出ましたが、圧倒的な支持を集めたのが将軍山祭でした。この名称が変わらずに続いてきたことをうれしく思いますし、伝統を守ってくれている後輩の皆さんに感謝申し上げます。

尾松◎今年は51回目の将軍山祭です。辻村さんたち先輩から伝統を引き継いだ僕たちも、未来につなげるという意識をもって取り組んでいます。

辻村◎当時の天野学長から直接、大学祭に託する思いを伺う機会がありました。「実行委員の人たちは大学祭の準備を通じて、将来各界の指導者として活躍する決意を示してほしい」と。さらに天野学長は「この第1回大学祭がこれから先50年、100年と続く伝統の第一歩となることを願います」とも言われました。

樫田◎当初から50年、100年先とのつながりを考えておられたわけですね。

時代精神を反映し続ける将軍山祭のテーマ。

富田◎その点、今年のテーマである「絆繋〜きづな〜」は象徴的です。私たちも何十年も後の世代に、絆をつなげていけるようにしていきたいと思います。

辻村◎第1回のテーマは「躍動と共栄」でした。今振り返っても当時の時代精神を反映したい言葉だと思っています。今

年のテーマにはどのような意図を込めたのですか。

尾松◎将軍山祭にかかわるすべての人たちの絆を結んでいく大学祭にすることに加えて、来年につながってほしいという思いを込めました。「絆」と「繋」の二文字に「きづな」ではなく「きづな」という仮名を当てたのは、「つながり」の「つ」を意図したものです。テーマの決定に際しては泊まり込みをしました。それぞれが自分の案をプレゼンテーションしたうえで、実行委員150人全員で納得のいくまで議論しました。

樫田◎特色は漢字を用いた点です。漢字は造形的にも強さがあり、アピール力もあると考えました。この文字を背負うことで、いい大学祭にしようという意識が自ずとわいてきます。

富田◎背負うというのは比喻ではなく、ジャンパーの背中にテーマがプリントされているんです。本部にいるときや実行委員の仕事には全員いつも着用しています。

追大一の学生組織に発展した実行委員会。

辻村◎それならどこにいても目立ちますね。我々の時代にはそういう発想はありませんでした。現在、実行委員会は約150名の委員を抱える追大一の規模を誇る学生組織に発展していると伺っています。委員会に入られた動機は何ですか。

尾松◎先輩たちが将軍山祭に向かって熱く取り組んでいる姿勢を見て、ぜひ一緒にやりたいと感じました。この活動に参加することで、日々を何のために過ごしているのかが明確になっています。

樫田◎大学で何か新しいことに挑戦したいと考えていたとき、最初に勧誘されたのが実行委員会でした。先輩たちと楽しい時間を過ごすことができれば、充実した大学生活になると思いました。

富田◎私も同じで、この団体に入れば大学生活を楽しめそうです。実際、入ったらやめられないほど楽しい毎日です。

辻村◎現在の実行委員は1年生からの積み上げなんですね。

尾松◎はい。団体のルールとして、1年生は局員、2年生は補佐、3年生は役



「将軍山祭」という名称と「躍動と共栄」というテーマが決まったことを知らせるポスター。

員、4年生は幹部や僕たちのような三役と積み上げていきます。

辻村◎我々の時代は手をあげた人間が委員長になって、年度ごとに違うチームが運営する方式でした。今は非常に組織立った運営に発展していますね。

三役一同◎将軍山祭とともに歩んできた大学生活です。

借行社からの伝統や一貫教育体制も支えに。

辻村◎資金面はいかがですか。当時一番困ったのがパンフレットの広告取りでした。先輩がいない状況でしたから。今は先輩を頼っているのか、それとも特別なルートがあるのか。

尾松◎両方ですね。先輩の引き継ぎも頼りになっています。とくに広告営業に困るといことは、今はありません。

辻村◎時代が変わりましたね。当時は飛び込み営業もした。大学の知名度が低くて断られることも少なくありませんでした。そのなかでも借行社時代の先輩と出会い「もともと借行社の大学だろう」と、寄付をくださったことがあったんです。学院としての歴史のありがたみを実感しました。

樫田◎今では営業に出ることはありませんが、その精神は見習わなければなりません。辻村さんの世代の方々もアグレッシブに開拓してくださった。その流れが現在に生きているのですから。

辻村◎そして第1回の将軍山祭で一番心配だったのは当日の来場者でした。誰も来なかったらどうしようと、夜眠れなかったくらい。それでも当日は予想以上に人が集まり安心しました。ありがたいことに、追手門の小中高校生が大勢参加してくれました。一貫教育のメリットです。

尾松◎今は中高の生徒さんは授業スケジュールの関係で、なかなか参加していただけないのですが、今年は学生課を通



第1回 実行委員長 × 第51回 実行委員長 & 副委員長



Special 対談企画 Shogun-Yama-Sai

第1回 将軍山祭 実行委員会

委員長
辻村 龍彦
(1期生 経経)

委員長
尾松 賢さん
経済学部
ヒューマンエコマニ学科
4年生

第51回 将軍山祭 実行委員会

副委員長
富田 奈那さん
心理学部
心理学科
4年生

副委員長
樫田 優斗さん
経済学部
経済学科
4年生



当時の実行委員。下段左が辻村氏で下段右が現在の校友会会長林田氏。皆で協力して作った「将軍山祭」の名前が入った入場アーチ。第1回将軍山祭の当日は追手門学院の小中高生がかけた。

じて、できるだけ来てくださるように呼びかけています。

辻村◎模擬店に参加する学生は多いですか。

尾松◎第1回目は非常に高い参加率だったとお聞きしていますが、現在は学生が多様化していますから、30%程度ですね。もちろん参加者を増やす努力はしています。

富田◎模擬店を出すにあたっての実行委員会の説明会があり、その動員を図るための広報は積極的にを行っています。

樫田◎地域社会への広報活動にも取り組んでいます。

尾松◎安威地区にある幼稚園・保育園に向いて将軍山祭で実施するイベントを子供たちに体験してもらうなど、地域でも様々な活動を行っています。

辻村◎地域の子供たちは将来の追大生。絶対に重視するポイントですよ。

次の50年に向かって追大ならではの独自性を。

辻村◎今年、何か目玉になる企画はありますか。

尾松◎これまでのトークショーを今年は講演会に変更します。あとは毎年のことですが、模擬店と展示です。全学で盛り上がる大学祭にするために、展示の規模を拡大します。

樫田◎トークショーを講演会に変えたのは、少し固くなるかもしれませんが、楽しむだけではなく講演者の成功談や生き方に触れて、今後の大学生活に役立ててほしいと考えたからです。

辻村◎校友会の立場から一つ申し上げますと、大学校友会も将軍山祭にホームカミング・デーとして参加しています。ク



第1回将軍山祭のプログラムを手に当時の様子を話す辻村氏。

ラブや同好会ごとに部屋を割り当てられているのですが、そこに在校生が大勢集まってくるクラブもあります。これこそが我々卒業生が望んでいる状況です。ホームカミング・デーは卒業生だけの場だと思われるようですが、そうではありません。ぜひ学生の皆さんにも来ていただきたいと、一言アピールさせていただきます。

尾松◎今回は初代の実行委員長である辻村さんと、このような対談をさせていただき感謝しています。追手門全体で作上げる大学祭となるよう、教職員や地域住民の方々も巻き込んで盛り上げていきます。

富田◎テーマにちなんで、縦のつながり、横のつながりをさらに強化して本番を迎えるように努めます。

樫田◎どの大学よりも熱い大学祭にします!

辻村◎素晴らしい意気込みです。皆さんと話しをしていて、あれから50年経ったんだと感慨深いですね。これから先さらに50年間続くように、他大学にはない独自のスタイルを築いてほしいと願っています。先ほど尾松委員長が地域の保育園・幼稚園を訪問する取り組みを紹介してくれましたが、子供たちを通じて、地域社会と大学を結びつけることも実行委員会の大切な仕事です。地域の子供たちが楽しめるアイデアを出せれば、それが特色となって、次の50年間に結びつきます。それは我々の世代ではできなかったことなんです。ぜひ皆さんにやり遂げてほしい。このメッセージを実行委員会の皆さんへのエールとして、この対談を締めくくりたいと思います。

三役一同◎はい、頑張ります。

第51回 将軍山祭
テーマ
「絆繋ぎきづな」
ホームカミング・デーにお越しの際はぜひ将軍山祭も楽しんでください!
開催日時 11月4日(土)・5日(日) 10:00～(両日とも)



追手門学院の改革力

『大学ランキング2018』※で“志願者数の増加率”・“就職率”・“他大学の学長からの評価”など、多くの項目で上位にランキングされました。

※朝日新聞出版/アエラムック編集部/2017年4月発行

	私立大学順位		全国順位	
	関西	大阪	国公私立	
募集力ランキング (志願者数の推移)	志願者数の増加数	6位	3位	14位
	一般入試志願者の増加数	7位	3位	15位
	志願倍率の増え幅	5位	4位	12位
一般入試志願者 (2016年度)	17位	6位	89位	
入学率ランキング	2位	2位	7位	

	私立大学順位		全国順位
	関西	大阪	国公私立
他大学の学長からの評価	4位	2位	13位
就職率ランキング (規模別)	2位	2位	5位
就職率ランキング (人文社会系)	1位	1位	14位
	4位	2位	26位
	1位	1位	1位

大学 × 校友会

追手門学院大学の自校教育・「UI論」講座に校友が登壇しました。

「大学校友会先輩と出会う～卒業生が語る追手門!」と題して官浪伸次氏(9期)・大坂幸司氏(13期)・中川純氏(21期)・山下貴弘氏(44期)が登壇し、大学時代や現在の状況について講演。学生も大きな刺激を受けたようで「先生とは違う言葉の重みを感じた」などの感想がありました。



女子ラグビー部

女子ラグビー部・福島わさなさんが日本代表としてワールド杯に出場。

アイルランドで開催された「女子ラグビーワールドカップ2017アイルランド大会」日本代表メンバーとして、追手門学院大学の福島わさなさん(国際教養学部4年生)が出場。福島さんは「太陽生命ウィメンズセブンシリーズ2016」で年間MVPも受賞した注目選手です。



校友会阿波踊り見学ツアー

校友会会員27名が阿波踊りを堪能。

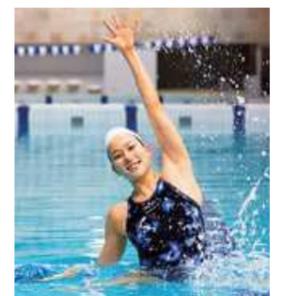
大阪から一泊二日の日程で実施。踊りが一番盛り上がると思える藍場浜演舞場の桟敷席で本場の阿波踊りを見学し、各連の素晴らしい個性を堪能しました。翌日は鳴門海峡のうず潮および淡路島観光を楽しみました。ご家族での参加も多く幅広い年齢層が集い、和気藹々と追手門の繋がりを感ぜられたツアーでした。



シンクロナイズドスイミング

卒業生で客員研究員の中牧佳南さんが世界水泳のシンクロで銅メダル!

追手門学院大学スポーツ研究センターの中牧佳南客員研究員(2015年国際教養学部卒)が、ブダペストで開催された世界水泳のシンクロナイズドスイミングチーム・テクニカルルーティーンで、みごと銅メダルを獲得しました。



卒業生支援

卒業後の就職・転職支援が変わります。

追手門学院大学・大阪梅田サテライトが9月末に閉館しますが、その後も卒業生への就職・転職支援サービスを継続します。今後は株式会社マイナビワークスとの業務提携により「マイナビジョブ20's」の利用を通じて、「カウンセリング」「セミナー開催」「求人紹介」「選考企業との各種調整」「書類添削・面接対策」「内定～入社までの調整」などのサービスを無料で受けられます。なお、カウンセリングは以下の同社オフィスで受け付けます。

サービスの流れ

卒業後に就職活動を継続されている方、転職を決心されている方はマイナビジョブ20'sをご利用できます。

サービスは全て無料



詳しくは「株式会社マイナビワークス」まで

マイナビジョブ20's 大阪オフィス

〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 30階
TEL: 06-4802-1365 HP: https://mynavi-job20s.jp/



学科名称変更

アジア学科を国際日本学科に改称。

2017年4月、国際教養学部アジア学科が国際日本学科に改称されました。また、カリキュラムを見直し2018年4月から「クールジャパン学コース」「日本学コース」、そして笑いを学問する「笑学コース」の3コースを開設します。

博士後期課程開設

心理学研究科に博士後期課程を開設。

2017年4月大学院心理学研究科に博士後期課程を開設。「認知・脳科学」「発達心理学・発達支援」「社会心理学・集団力学」の3領域において研究指導を行い、研究者・高度専門職の育成をめざします。

直通バス

直通バスから路線バスへ移行を検討。

追手門学院大学では、2019年2月を目途に直通バスから有料路線バスへの移行を検討しています。路線バスへの移行に伴い、乗車に際しては運賃が必要となります。

校友会イベント

夏恒例の催しとなった、校友会主催イベント「恋の歌を短冊にしたためよう」。多くの校友・学生・教職員から応募があり、優秀作品が表彰されました。

学生の部		
金賞	久保田 輝	追手門 俺を導け 天の川
銀賞	山迫 瞬	一輪の花束を愛しい君にとどけたいのにそれはもうかなわない
銀賞	末吉 陸	茨木に笑う門より福来る
銅賞	田邊 琢真	僕のこの想いを付度してください
銅賞	福島 圭大	夏の空 君への想いが 打ち上がる
銅賞	仲川 碧	君を知る そうして僕は 恋を知る



▲銅賞を受賞した経営学部の仲川碧さん。

一般の部		
金賞	小林 善帆	夕暮れは 君への思い募らせる せんなきことを知りつつ思う
銀賞	菅 智子	5年振り 浴衣で花火 今年こそ
銀賞	宮本 佳子	会えちゃった 想い通じた 夢の中
銅賞	藤田 真由	餅つきに 君のあの声 あの話 笑顔も同じ 白髪ありても
銅賞	賛田 肇	バス降りて 真夏の頃の階段で いつも眺めた ミニ今いずこ
銅賞	湯里 弘子	寝不足も 苦じゃないレベルで はまっています



▲林田校友会会長と受賞者一同で記念写真。

2016年度 収支決算書

2016年4月1日から 2017年3月31日まで			
科目	予算	決算	差異
前期繰越金	207,521,120	214,818,424	△7,297,304
収入			
会費	52,600,000	50,890,000	1,710,000
利息	950,000	1,006,652	△ 56,652
雑収入	1,920,000	2,325,390	△ 405,390
前受金	0	68,160,000	△ 68,160,000
前期未収金	0	△ 49,510,000	49,510,000
合計	55,470,000	52,992,042	1,287,958
合計	262,991,120	267,810,466	△ 4,689,346
支出			
会費発行費	10,865,000	8,076,232	2,788,768
役員交際費	3,329,000	1,810,747	1,518,253
役員・理事費	986,000	956,872	29,128
総会費	2,132,000	1,210,529	921,471
支部援助費	3,944,000	2,596,820	1,347,180
支部設立準備費	600,000	872,430	△ 272,430
クラブ協会支援費	1,200,000	296,680	903,320
クラブ08連合会運営支援費	500,000	0	500,000
入学記念品費	1,800,000	1,732,249	67,751
卒業記念品費	8,370,000	7,782,000	588,000
学友会活動援助費	1,000,000	1,000,000	0
大学祭援助費	200,000	200,000	0
学生懇親会費	894,000	509,686	384,314
国際交流費	600,000	388,827	211,173
学生プロジェクト支援費	300,000	490,000	△ 190,000
会議費	307,000	267,000	40,000
印刷費	534,000	100,000	434,000
交通費	1,000,000	1,120,000	△ 120,000
通信費	240,000	240,000	0
公租外費	250,000	250,000	0
渉外費	80,000	80,000	0
修繕費	35,000	35,000	0
慶弔費	200,000	90,000	109,920
事務費	95,000	487,943	△ 392,943
記念事業費	10,806,000	5,476,719	5,329,281
寄付金	7,500,000	6,318,890	1,181,110
事務負担金	3,500,000	3,500,000	0
周年事業積立金	4,000,000	4,000,847	△ 847
将軍山基金繰入	5,000,000	5,686,935	△ 686,935
【予備費】	8,200,000	1,100,559	5,099,441
前期未払金	0	8,098,792	△ 8,098,792
当期末払金	0	△ 6,202,597	6,202,597
合計	76,449,000	54,954,185	21,494,815
次期繰越金	186,542,120	212,726,281	△ 26,184,161
合計	262,991,120	267,810,466	△ 4,689,346

2017年度 収支予算書

2017年4月1日から 2018年3月31日まで			
科目	予算額	前年度予算額	増減
前期繰越金	212,726,281	207,521,120	5,205,161
収入			
会費	54,240,000	52,600,000	1,640,000
利息	1,000,000	950,000	50,000
雑収入	682,000	1,920,000	△ 1,238,000
合計	55,922,000	55,470,000	452,000
合計	268,648,281	262,991,120	5,657,161
支出			
会費発行費	17,228,000	10,865,000	6,363,000
役員交際費	2,884,000	3,329,000	△ 445,000
役員・理事費	926,000	986,000	△ 60,000
総会費	1,832,000	2,132,000	△ 300,000
支部援助費	3,944,000	3,944,000	△ 40,000
支部設立準備費	600,000	800,000	△ 200,000
クラブ協会支援費	0	1,200,000	△ 1,200,000
クラブ08連合会運営支援費	300,000	500,000	△ 200,000
入学記念品費	1,800,000	1,800,000	0
卒業記念品費	8,370,000	8,370,000	0
学友会活動援助費	1,000,000	1,000,000	0
大学祭援助費	200,000	200,000	0
学生懇親会費	894,000	800,000	94,000
国際交流費	600,000	600,000	0
学生プロジェクト支援費	300,000	490,000	△ 190,000
会議費	307,000	267,000	40,000
印刷費	534,000	100,000	434,000
交通費	1,000,000	1,120,000	△ 120,000
通信費	240,000	240,000	0
公租外費	250,000	250,000	0
渉外費	80,000	80,000	0
修繕費	35,000	35,000	0
慶弔費	100,000	200,000	△ 100,000
事務費	95,000	95,000	0
記念事業費	0	10,806,000	△ 10,806,000
寄付金	4,732,000	7,500,000	△ 2,768,000
事務負担金	3,500,000	3,500,000	0
周年事業積立金	4,000,000	4,000,000	0
将軍山基金繰入	0	5,000,000	△ 5,000,000
【予備費】	6,200,000	8,200,000	△ 2,000,000
合計	55,751,000	76,449,000	△ 20,698,000
次期繰越金	212,897,281	186,542,120	26,355,161
合計	268,648,281	262,991,120	5,657,161

財産目録

2017年3月31日現在

資産の部 (単位:円)		
科目	金額	内容
普通預金	72,290,945	三井住友銀行美本支店
普通預金	598,889	北おおさか信用金庫本店営業部
普通預金	1,431,320	北おおさか信用金庫本店営業部
普通預金	6,957	三井住友銀行美本支店
普通預金	6,957	りそな銀行美本支店
普通預金	1,886	北おおさか信用金庫本店営業部
定期預金	8,000,000	北おおさか信用金庫本店営業部
定期預金	10,000,000	大和キヨト銀行
定期預金	10,000,000	三井住友銀行美本支店
定期預金	10,000,000	りそな銀行美本支店
定期預金	130,000,000	北おおさか信用金庫本店営業部
定期預金	31,000,000	北おおさか信用金庫本店営業部
定期預金	530,000,000	北おおさか信用金庫本店営業部
資産の部合計	902,336,954	

負債の部 (単位:円)		
科目	金額	内容
前受金	48,160,000	2016年度3月卒業生(2017年度会員)
未払金	6,202,597	会報費03号等
負債の部合計	54,362,597	

純資産 (単位:円)		
科目	金額	内容
純資産	748,974,357	

将軍山基金 (単位:円)	
項目	金額
前年度末残高	576,921,097
本年度繰入金	5,000,000
本年度利息	686,935
前年度末残高	582,608,032

周年事業積立金 (単位:円)	
項目	金額
前年度末残高	4,091,794
本年度取崩高	0
本年度繰入金	4,000,000
本年度利息	847
前年度末残高	8,092,641

追手門学院大学校友会

会長 林田 隆行 殿

会計監査報告

公正なる監査の結果、別紙計算書類は、平成28年(2016年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までの校友会の保有する財産及び収支の状況を正しく示しているものと認め、ここに報告いたします。

平成29年(2017年)5月26日

追手門学院大学校友会

監事 純田元良
監事 辻村龍彦
監事 古橋忠男

●追手門学院大学校友会ホームページ

http://otemon.org/ 追手門学院大学校友会 検索



校友会メールマガジン

オール追手門の最新情報をお伝えして行きます。



住所・電話番号・メールアドレスなど、連絡先ご変更の際はこちらから更新ください

住所変更・改姓などをされる場合は、校友会HPの住所変更依頼フォームにご入力いただき送信してください。また、FAXや郵便での依頼も受け付けております。同ページ内の住所変更届(PDF)をプリントアウトしたものをご記入いただき事務局までFAXまたは郵便でお送りください。



●校友会「出欠管理システム」

支部総会・クラブなどの各種同窓会
お申し込みは校友会ホームページから

各支部の同窓会をはじめ、学部・ゼミ・クラブ同窓会など、大学校友会では様々な同窓会が開催されています。各種催しの参加申し込みには、ぜひ校友会ホームページをご利用ください。「出欠管理システム」のお申し込みフォームから応募できます。

※複数名でお申し込みの方は、人数分のご入力をお願いします。

●支部長・同窓会幹事の皆さまへ

同窓会の開催に便利な出欠管理システム
どなたでもお使いいただけます

校友会ホームページでは、各種催しなどのお申し込み管理に便利なWEBシステムを開発・導入しました。利用を希望される方は、校友会事務局までメールにてお申し出ください。承諾の場合、折り返し利用願いを代表責任者に送信します(アドレス下記)。

E-mail: info@ogu-koyukai.com

●校友会「誰どこ何してるシステム」

お店・会社を校友に宣伝
活躍する校友の検索もできる

校友が経営者・代表を務める、または勤務するお店や会社、事務所などを幅広く掲載しているシステムです。名前・卒業年度・学部・フリーワードで検索できるほか、都道府県やジャンルからも探せる充実の検索システムも付いており、ご近所で活躍する校友を見つけることも。掲載希望の方はこのページからシステムに投稿することもできます。

※「誰どこ何してるシステム」は投稿型のコンテンツです。ご投稿の際には掲載にあたっての注意事項をご確認ください。

●校友会「Facebook」

校友会の最新情報はココ

校友会の情報発信や大学の最新情報のほか、大学・校友に関するメディア出演のお知らせをFacebookにアップ。関係者のテレビ出演や新聞掲載などの詳細が紹介されています。定期的なチェックと、「いいね!」をお願いします。



●校友会「投票・アンケート収集システム」

コンテストやアンケート収集に
対応したシステムを利用できます

校友会ではアンケート収集のほか、ロゴマーク・ゆるキャラといったコンテンツなどで投票受付や収集・集計ができる「投票・アンケート収集システム」を開発・導入しています。校友会や大学のイベント企画などで必要な際は事務局までお申し込みください。